

## 平成 27 年度事業実績及び平成 28 年度事業計画 (福祉のまちづくり関連事業)

### 1 埼玉県福祉のまちづくり普及推進事業 (福祉政策課)

(28 年度当初予算額 : 2, 802 千円)

#### (1) 福祉のまちづくり普及啓発事業

##### ア 障害者用駐車場マナーアップキャンペーンの実施

事業内容	障害者用駐車場のマナーについて、11月1日から12月9日を強調月間として、広く県民に伝えることにより障害者に対する理解と障害者用駐車場の適正利用を促進する。
27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターの一斉掲示 (公共施設、文化施設、百貨店、ショッピングセンター、ホームセンター等、約 1,200 か所)</li> <li>・啓発活動の実施 (浦和レッズ戦や菖蒲パーキングエリアでのキャンペーン、彩の国だより (H27 年 12 月号)、ラジオ放送)</li> </ul>
28 年度計画	<p>平成 28 年 11 月 1 日から 12 月 9 日まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター掲示、店内放送</li> <li>・広報 (彩の国だより 11 月号や FM ラジオ NACK5 でキャンペーンを周知)</li> <li>・各種イベント (浦和レッズ戦等) に出展し、マナーアップキャンペーン普及啓発グッズの配布等</li> </ul>

##### イ 福祉団体との協働によるキャンペーンの実施

事業内容	NPO や障害者団体等と県が協働し、キャンペーンを行う。
27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦和レッズの試合に県政 PR ブースを出展 (H27. 11. 7 埼玉スタジアム 2002)</li> <li>・公共施設の障害者用駐車場を青色塗装 (H28. 2. 15 新座市福祉の里)</li> </ul>
28 年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等へのブース出展</li> <li>・商業施設等へ障害者用駐車場の青色塗装依頼</li> </ul>

ウ 街で見かける障害者に関するマークの普及啓発

事業内容	障害者のシンボルマークの普及啓発を行い、県民の障害者への理解を深める。
27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター掲示（県内全鉄道駅 234 駅、秩父鉄道・SR・ニューシャトル車内、路線バス車内、コンビニ（サンクス県内全店舗））</li> <li>・県主催イベントにおけるチラシの配布</li> </ul>
28年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター掲示（県内鉄道駅・鉄道車両内、県内路線バスの車内、公共施設・文化施設・商業施設等での掲示）</li> <li>・各種イベントにおけるチラシの配布</li> </ul>

エ 建築士に対する福祉のまちづくり条例のPR

事業内容	建築士の方々に、福祉のまちづくりの趣旨や整備基準の内容等を説明
27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人埼玉建築士会の「法令説明会」（県内12か所）においてPR（H27.10）</li> </ul>
28年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人埼玉建築士会の「法令説明会」においてPR</li> <li>・一般社団法人埼玉県建築士事務所協会の「法令セミナー」においてPR</li> </ul>

オ その他の広報手段による普及啓発

事業内容	様々な広報手段により普及啓発を実施
27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彩の国だより（H27年12月号）に障害者用駐車場の適正利用の記事を掲載</li> <li>・イベント等で配布するグッズ（メモ帳）に多機能トイレのマナーに関する文言を記載</li> <li>・フェイスブックのサイト「はーとふるどあ＊埼玉県福祉部」に障害者用駐車場の適正利用など随時掲載</li> </ul>
28年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彩の国だよりに障害者用駐車場の適正利用及び多機能トイレのマナーアップの記事を掲載</li> <li>・埼玉県ホームページによる普及啓発</li> <li>・県封筒の封かん部に障害者用駐車場適正利用の標語を刷り込み</li> </ul>

(2) 福祉のまちづくり推進協議会

事業内容	福祉のまちづくりに関する学識経験者、福祉団体、民間事業者、公募による県民及び市町村行政関係者からなる委員により、生活関連施設の整備の促進、その他の福祉のまちづくりの推進に関する検討を行う。
27年度実績	①第1回協議会 ・開催日 平成27年9月4日(金) ・議題 平成26年度事業実績及び平成27年度事業計画 建築物の適合率について 駅ホームの転落防止対策 越谷市のバリアフリーマップの取組 ②第2回協議会 ・開催日 平成28年2月16日(火) ・議題 福祉のまちづくり関連事業 平成28年度事業計画(案) 障害者差別解消法について その他
28年度計画	①第1回協議会 開催時期 平成28年7月28日(木) ②第2回協議会 開催時期 平成29年2月予定

## 2 福祉のまちづくり条例に基づく届出状況

### 平成27年度 届出状況

	届出件数	処理件数	適合件数	適合率(%)
建築物	1,017	883	204	23.1
公共交通機関の施設	7	7	7	100
都市公園	13	13	13	100
道路	4	4	3	75.0
路外駐車場	14	13	13	100

### 過去3年間 適合率推移(%)

	25年度	26年度	27年度
建築物	26.0	24.9	23.1
公共交通機関の施設	71.4	100	100
都市公園	100	81.3	100
道路	50.0	100	75.0
路外駐車場	100	100	100

### 3 関連事業

#### (1) 生活関連施設の整備関係

##### ア まちづくり全般

##### ①「バリアフリー基本構想策定支援」(都市計画課)

事業内容	平成18年に施行されたバリアフリー新法第25条に基づき、各市町村は移動等円滑化のための事業推進に当たり、バリアフリー基本構想を作成できることとなった。この基本構想策定に当たり、策定予定の市町村に対して技術的支援を行う。
27年度実績	県内10市町が基本構想を作成済み。 《作成済み市町村》 熊谷市(H14.3) 深谷市(H15.3) 東松山市(H15.3) 寄居町(H16.3) 所沢市(H16.3) さいたま市(H16.3) 白岡市(H17.2) 入間市(H17.3) 小川町(H20.3) 川口市(H21.7) (作成年月)
28年度計画	基本構想策定に当たり、策定予定の市町村に対して技術的支援を行う。

##### イ 建築物

##### ①「人にやさしい建物づくり」(建築安全課)

事業内容	バリアフリー法、埼玉県建築物バリアフリー条例、埼玉県福祉のまちづくり条例の運用により、人にやさしい建物の整備促進を図る。
27年度実績	福祉のまちづくり条例に基づく届出受理数 1,017件(うち処理件数883件)
28年度計画	バリアフリー法、埼玉県建築物バリアフリー条例、埼玉県福祉のまちづくり条例の運用により、人にやさしい建物の整備促進を図る。

②「重度障害者居宅改善整備費補助」（障害者福祉推進課）

事業内容	<p>重度身体障害者の障害に応じた居宅の改善費用を助成する市町村（さいたま市を除く。）に対し補助する。</p> <p>《対象者》                  下肢又は体幹機能に障害がある身体障害者手帳1級又は2級の方</p> <p>《所得制限》                  世帯の最多収入者の前年所得税額 100,500 円以下</p> <p>《補助対象》                  障害に応じた居宅の屋内外の改善に係る経費                  なお、居宅の新築、増改築、日常生活用具給付等事業又は介護保険で給付対象となる住宅改修は補助対象外</p> <p>《基準額等》                  基準額は36万円                  県1/3、市町村1/3、本人1/3を負担。                  生活保護の世帯は、県1/2、市町村1/2</p>
27年度実績	補助件数38件
28年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重度身体障害者の障害に応じた居宅の改善費用を助成する市町村（さいたま市を除く）に対し補助を行う。</li> <li>・ 補助件数（見込）32件</li> </ul>
28年度当初予算額	3,936千円

ウ 公共交通機関の施設

①「みんなに親しまれる駅づくり事業」（交通政策課）

事業内容	<p>鉄道駅へのエレベーター・スロープ設置による段差解消やトイレの多機能化など、バリアフリー化に取り組む市町村に対し、経費の一部を補助する。</p> <p>《補助率》 市町村負担額の1/2</p> <p>※ 前年度普通交付税不交付団体は1/3 ※ 補助限度額は1施設につき2,000万円</p>
27年度実績	<p>5市町5駅16施設に補助。</p> <p>段差が解消された鉄道駅（1日平均利用者が3千人以上）の割合は、平成26年度末の94.9%から97.1%（平成27年度末）に上昇した。（175駅中170駅が段差解消）</p>
28年度計画	<p>5市町5駅7施設に補助を予定している。</p> <p>段差が解消された鉄道駅（1日平均利用者が3千人以上）の割合は、98.3%（平成28年度末）に上昇する見込み（175駅中172駅が段差解消の見込み）</p>
28年度当初予算額	101,400千円

②「駅ホームの転落防止対策推進事業」（交通政策課）

事業内容	<p>駅ホームからの転落事故の防止を図るため、ホームドアの設置経費及び内方線付き点状ブロックの整備経費を助成することにより、これらの普及を促進する。</p> <p>1 ホームドア設置促進事業 ホームドア設置経費に対する補助 (補助率：国 1/3、県 1/6、市町村 1/6) ※27年度の補助率： 国 1/3、県 0.7/3、市町村 0.3/3</p> <p>2 点状ブロック整備促進事業 利用者の多い駅等での内方線付き点状ブロックの整備に対する補助 (補助率：国 1/3、県 1/6、市町村 1/6) ※前年度普通交付税不交付団体は 県 1/9、市町村 2/9</p>
27年度実績	<p>1 東武鉄道和光市駅への設置に補助。</p> <p>2 18市町28駅の整備に対し補助。 (平成26年度からの繰越分含む)</p>
28年度計画	<p>1 補助対象：東武東上線 川越駅</p> <p>2 補助対象：9市町10駅の整備に対し補助予定。</p>
28年度当初予算額	114,396千円

③「バス活性化事業」（交通政策課）

事業内容	<p>路線バス事業者が実施する、ノンステップバスの導入に対して、経費の一部を補助する。 ノンステップバスは、普通のバスより車両購入額が高くなる。そのため、その高い分の差額について国と県と関係する市町村が補助する。 《補助率》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国 差額の 1/2</li> <li>・県 差額の 1/4</li> <li>・市町村 差額の 1/4</li> </ul>
27年度実績	バス事業者8者計71両に補助。
28年度計画	バス事業者7者に対し計42両の補助を予定。
28年度当初予算額	26,676千円



## エ 公園

### ①「高齢者、障害者等に配慮した公園づくり」（公園スタジアム課）

事業内容	高齢者、障害者、妊産婦や子供などに配慮した公園施設の整備・改修を行う。
27年度実績	大宮公園ほか11公園で実施。
28年度計画	大宮公園ほか8公園において整備・改修事業を実施予定。
28年度当初予算額	347,340千円

### ②「県営公園における福祉政策のPR」（公園スタジアム課）

事業内容	県の福祉政策をPRするポスター掲示を県営公園で実施する。
27年度実績	県営27公園で実施。
28年度計画	県営27公園で実施予定。

## オ 道路

### ①「バリアフリー安全対策事業」（道路環境課）

事業内容	高齢者、障害者の利用機会が多い駅・病院や公共施設周辺を中心に、バリアフリーに配慮した歩道の整備を行う。
27年度実績	県管理道路8か所において事業を実施した。
28年度計画	県管理道路13か所において事業を実施予定。
28年度当初予算額	262,500千円

(2) 普及啓発関係

ア 「ユニバーサルデザイン推進事業」 (文化振興課)

事業内容	ユニバーサルデザインの総合的な普及啓発を行う。 1 ユニバーサルデザイン当事者参加の推進 施設を新規で計画又は改修を予定する場合、当事者(例えば施設の利用者や管理者等)など様々な方に、事前にワークショップ等を開催して意見をいただき設計に反映させる「当事者参加」を推進するため、研修会を開催する。 2 ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣 学校、企業、公共団体等においてユニバーサルデザインの講演を行う場合に講師を派遣する。
27年度実績	1 ユニバーサルデザイン当事者参加の推進 研修会 開催日 平成27年7月8日(水) 場所 埼玉県県民健康センター(さいたま市) 2 ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣 派遣回数10回、聴講者数延べ1,132人 (平成28年3月31日現在)
28年度計画	1 ユニバーサルデザイン当事者参加の推進 研修会 開催日 平成28年10月 場所 さいたま市 2 ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣 学校、企業、公共団体等においてユニバーサルデザインの講演を行う場合に講師を派遣する予定。
28年度当初予算額	1,089千円